

引き継ぎ資料
「安心して学校生活を送るために」
作成・活用の手引き
(令和5年度版)

石川県立いしかわ特別支援学校 地域支援室

石川県立いしかわ特別支援学校 地域支援室では、お子様一人一人が楽しく安心して学校生活を送れることを願って、引き継ぎ資料の作成・活用の提案を行っています。

1 引き継ぎ資料「安心して学校生活を送るために」の目的

*以下、引き継ぎ資料「安心して学校生活を送るために」を「引き継ぎ資料」と表す

この引き継ぎ資料は、保護者の願いや関係機関からの情報を資料にまとめ、就学先に引き継ぐためのものです。

2 作成の位置付け

保護者が主体となって作成・活用していくものです。
保護者が支援者等の関係機関に情報の提供を求めます。

3 構成及び内容

下記のような4つの構成になっており、必要なものを選んで作成します。

A プロフィール

お子様の成長の様子や相談歴・療育歴について

B 保護者から

就学にあたっての保護者の願いや家庭でのお子様の姿について

C 支援者から

医療・保健・福祉・教育等の関係機関からの情報

D 幼稚園・保育所（園）・こども園から

幼稚園・保育所等からの情報

4 作成にあたっての注意事項

個人情報の取り扱いには十分に配慮してください。

また、この資料の管理につきましても、保護者が行ってください。

5 作成から就学先へ引き継ぐ流れ

| 月 | 内 容 |
|---|--|
| 1 月 ～ 3 月 | ①保護者は引き継ぎ資料の プロフィール 保護者から を記入し始める。 |
| | ②保護者は 支援者から や、状況により 幼稚園・保育所（園）・こども園から を医療・保健・福祉・教育機関・幼稚園・保育所等に作成協力を依頼する。 *作成協力を依頼する時は、P3のQ&AやP5「関係の方々へ」を参考にして依頼してください。 |
| | ③支援者や幼稚園・保育所等に記入してもらった場合は、作成してもらった 支援者から 幼稚園・保育所（園）・こども園から を受け取る。 |
| | ④引き継ぎ資料が完成する。 |
| | ⑤保護者は、完成した引き継ぎ資料の <u>原本を保管し、就学先への引継ぎ用にコピーをとる。</u> |
| 3 月 上 旬 ～ 4 月 (入 学 式 前) | ⑥保護者は就学先に連絡し、引き継ぎをする日を決める。 *学校によって、3月中または4月に入ってから場合があります。 |
| | ⑦保護者は就学先に出向き、引き継ぎをする。 ア. 引き継ぎ資料の説明をして、校長または教頭や担任の先生に手渡す。 イ. 引き継ぎ当日や後日、お子様と一緒に就学先へ出向く。 *就学先と相談のうえ、お子様に応じて行ってください。 上記以外の引継ぎの方法もあります。必要に応じて行ってください。 |

6 関係各位への作成協力依頼について

引き継ぎ資料の作成協力の依頼については、保護者から関係各位へお願いしてください。

依頼の際には、P5【関係の方々へ】（表紙の裏面に記載してあります）に目を通していただくようお願いください。

【作成協力の依頼先】

- ・医療（医師、療法士等）
- ・保健・福祉（保健師、相談員等）
- ・教育（幼稚園、保育所・園の先生、相談の担当者等）機関

7 引き継ぎ資料の作成・活用に関するQ&A

Q1：欄をすべて埋めなければならないのですか？

A：いいえ。欄をすべて埋める必要はありません。
学校生活で必要と思われる情報を書きましょう。

Q2：引き継ぎ資料作成のため医療機関に記入を依頼してもいいですか？

A：保護者から、医療機関にお願いしてください。
医療機関により対応に違いがありますのでご確認ください。

Q3：幼稚園や保育所等に記入を依頼するときに気をつけることは？

A：**幼稚園・保育所（園）・こども園から** の様式で記入してもらう場合は、園長にP10「幼稚園・保育所（園）・こども園の先生方へ（お願い）」の文章を添えてお願いしてください。

Q4：引き継ぎ資料は就学先の他に、どのようなところで活用できますか？

A：例えば学童保育や放課後等デイサービスなど、お子様にとって必要と思われる機関で活用することが考えられます。
引き継ぐ情報は、引き継ぎ資料をすべて渡すのではなく、必要と判断した情報のみ提供することも考えられます。
また、引き継ぎ先に対しては個人情報に十分配慮していただくことをお願いする必要があります。

8 記入のポイント

表紙

引き継ぎ資料

「安心して学校生活を送るために」



引き継ぎ資料が完成した日を書きます。

| | | | | |
|-----|----|---|---|---|
| 作成日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
|-----|----|---|---|---|

表紙の裏

関係の方々へ

石川県立いしかわ特別支援学校 地域支援室では、お子様一人一人が楽しく安心して学校生活を送れることを願って、引き継ぎ資料の作成・活用の提案を行っています。

引き継ぎ資料とは、保護者の願いや関係機関からの情報を資料にまとめ、就学先に引き継ぐためのものです。

この資料は保護者が主体となって作成・活用します。

この資料に記載されたことに関する事項は、保護者の理解がある場合にのみ、お子様の支援にかかわる情報の共有化を行う目的で活かされます。

就学先では、この資料を「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を立てるときの参考にしていただき、個人調査票等と同じような形で情報や支援を引き継いでいただければ幸いです。

なお、医療機関からの情報をはじめ、個人情報が多く含まれていますので、管理・運用には十分配慮が必要になります。

以上のこと及び趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【石川県立いしかわ特別支援学校 地域支援室】

| | | | | | |
|-----------------|-------------------|----|---|------|--------------------|
| ふりがな お子さんの名前 | いしかわ たろう 石川 太郎 | 性別 | 男 | 生年月日 | 平成〇年〇月〇日 |
| 保護者氏名 | 石川 正 | 続柄 | 父 | 家族構成 | 父、母、祖父、祖母、 兄、本人 |
| 住所 | 金沢市〇〇町1丁目59番地 | | | | |
| 電話番号 | 母携帯 090-〇〇〇-〇〇〇〇 | | | | |



生育歴

記入は、手書きでも構いません。

<記入例>

- 体重 2800g (出生時)
- 首座り 4か月
- お座り 8か月
- ひとり歩き 1歳3か月
- 話し始めは2歳ぐらいからで、遅かったが、話すようになってからどんどん言葉を覚えていった。
- 泣いていることが多く、敏感な子どもだった。人見知りはなかった。
- 1歳より、母の就業のため〇〇保育園へ入園。特に問題はなかったが、3歳ごろ、保育士より「落ち着きがない」「皆と一緒に食事、昼寝ができない」と言われた。
- 離乳食開始 6か月
- 普通食開始 1歳半ごろ

相談歴・療育歴

<記入例>

- 3歳児健診で医療機関への受診をすすめられた。
- 3歳 〇〇病院を受診し、〇〇センターで作業療法を開始。
- 3歳～ 〇〇大学病院 小児科(〇〇先生)受診。今も継続している。
- 4歳から 〇〇センターで言語療法を開始。
- 令和〇〇年〇月 〇〇保育園を卒園。

療育手帳 B 令和〇〇年交付
児童発達支援〇〇〇〇利用開始(年長より)

名前など記入欄
には、必要であると思われる内容のみ書きます。

生育歴

相談歴・療育歴



安心して学校生活を送るために

保護者から

就学にあたっての保護者の願い



<記入例>

- 学校生活のルールやマナーを守りながら、毎日、楽しく友だちと過ごしてほしいと思います。
- 幼稚園の活動で分からないことや取り組みが難しいことがあると、登園をしぶることが多かったです。自分から「わかりません」「教えてください」と言えるようになってほしいです。

家庭での子の姿

身辺自立（着替え、食事、排泄等）や遊び、好きなこと、対人関係、コミュニケーション、気になること、心配なことなど必要な項目に分けて書いてもよいです。また、これまでの保護者の関わりや対応方法も書くとよいです。

<記入例>

- 朝の目覚めはよく、母親の次に必ず起きます。
- 夜の歯磨きは、自分からします。「えらいなあ」と褒めています。
- 衣服の表裏を逆に着用することがあります。ズボンやパンツをおなかまで上げないことが多く、靴下を履くのを嫌がります。指摘すると直しますが、声かけが必要です。
- 大便後のおしり拭きは、自宅で練習しています。
- 食欲旺盛で、必ずおかわりをします。箸が正しく持てず、お皿に口をつけてかきこむことが多いです。毎食、箸の持ち方や食べ方を教えています。
- 自宅では、テレビゲームは一切させていません。
兄と「キャラクター人形での戦いごっこ」「紙で動物などを作る」ことをして遊ぶことが好きです。
- 兄をライバル視しており、全ての行為を真似しています。
- 落ち着きがなく、自宅では「くるくる走り回る」「ソファの上でジャンプする」などして、動き回っています。静かに過ごすことを約束しても忘れやすいです。転倒や怪我に発展することもあるため、見守りながら落ち着くように声かけしています。
- 外出先では、テンションが高まり、許可なくどこかへ行くため、迷子になりやすいです。
買い物では、母親と手をつなぐことを約束しても守れず、手を振り切って店内を走り回るため、買い物かごやカートを持つように促し、一緒に店内を回るようにしてきました。少しずつ、かごなどをもち母親のそばから離れないようになってきています。
- 言葉で質問されたことに対して、すぐに返事をするのが苦手です。
しかし、少し待っていてあげると、答えられることもあります。

幼稚園・保育所（園）・こども園から

| | | | |
|--------|--|-------|--|
| 子どもの名前 | | 園（所）名 | |
| 園（所）長名 | | 担当者名 | |

<記入例>

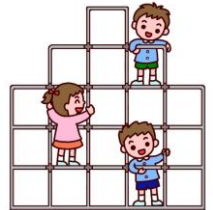
<園で大切にしてきたこと>

- 本人の「皆と一緒にしたい」という気持ちを大切に、係活動や行事など手助けをしながら経験できるように心がけた。

<児の良さ>

- 友だちが好きで進んで関わろうとする。小さな子のお世話をしようとするこもある。

エピソード



<記入例>

- 朝のかばんなどの片づけは、遊んでいる友だちが気になってなかなか集中できない。片づけのスペースを1か所にまとめ、衝立で遊びスペースと区別した。その後は、保育士の言葉かけがあれば、1人で荷物を片づけるようになった。
- トイレに行くことを嫌がる。しかし、タイミングをみて「トイレタイムだよ」と声をかけ、友だちと一緒にに行くように促すと、行けるようになった。
- 遊びに夢中になると、切り替えが難しい。前もって片づけに取りかかる時間を告げておき、その時間に時計を見るよう促すと、片づけに取りかかれた。
- 1番になることにこだわる。ゲームの時は、前もって「負けた時は、残念のポーズをしよう」「今日、負けたチームは、今度最初にすることができよ」など約束を決めておくと、我慢できることがあった。
- 偏食がある。年少児の頃から徐々に改善してきているが、まだ、野菜類は食べられない物が多い。しかし、保育士が「減らしてくださいって言えば、減らすよ」と繰り返し伝えると、徐々に自分から言えるようになった。機嫌のよい時は「△△ちゃん、この野菜好きなんだって」と友だちの食べる様子を見せて促した。

お子さんとの関わり（集団活動、遊び、日常生活など）の中で、特徴的な出来事とその時の様子、うまくいった対応の仕方などを書いてもらおうとよいです。



作成日 令和 年 月 日

幼稚園・保育所等に記入を依頼するときに、
この文章を添えてお願いしてください。

安心して学校生活を送るために

引き継ぎ資料「安心して学校生活を送るために」について

幼稚園・保育所（園）・こども園の先生方へ（お願い）

石川県立いしかわ特別支援学校地域支援室では、相談を利用されている保護者の方に、引き継ぎ資料の作成・活用の紹介をしています。

引き継ぎ資料は、保護者が希望し、保護者が主体となって作成します。

引き継ぎ資料には、就学先に望ましい支援や配慮をつなぐことを目的に、必要に応じて家庭の情報や園の情報、関係機関の情報等が記載されます。

就学先では、入学後の関わりや「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を立てる際の参考として活用されます。

添付した記入例を参考にいただき、園でのお子さんの様子や配慮・支援について、記入していただけると幸いです。

保護者の願いや、この取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

石川県立いしかわ特別支援学校地域支援室
金沢市南森本町1番1
TEL 076-258-1715（地域支援室直通）

9 問い合わせ先

不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

〒920-3116

石川県金沢市南森本町1番1

石川県立いしかわ特別支援学校 地域支援室

TEL 076-258-1715 (地域支援室直通)

石川県立いしかわ特別支援学校

TEL 076-258-1101

以上のことを参考の上、引き継ぎ資料を作成・ご活用ください。